

文教厚生委員会資料

健康福祉部
令和3年4月15日

■報告事項

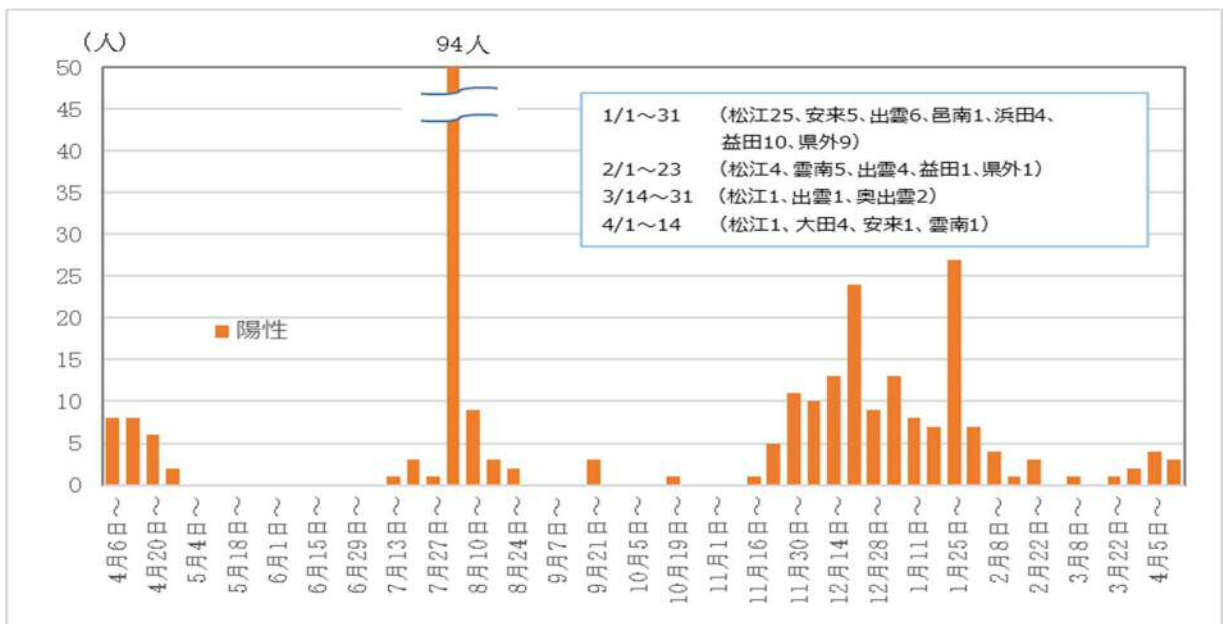
- 1 新型コロナウイルス感染症への対応等について
(感染症対策室) … 1
- 2 がん診療連携拠点病院の指定について
(健康推進課) … 5
- 3 第8期介護保険事業計画期間における介護保険料について
(高齢者福祉課) … 7

新型コロナウイルス感染症への対応等について

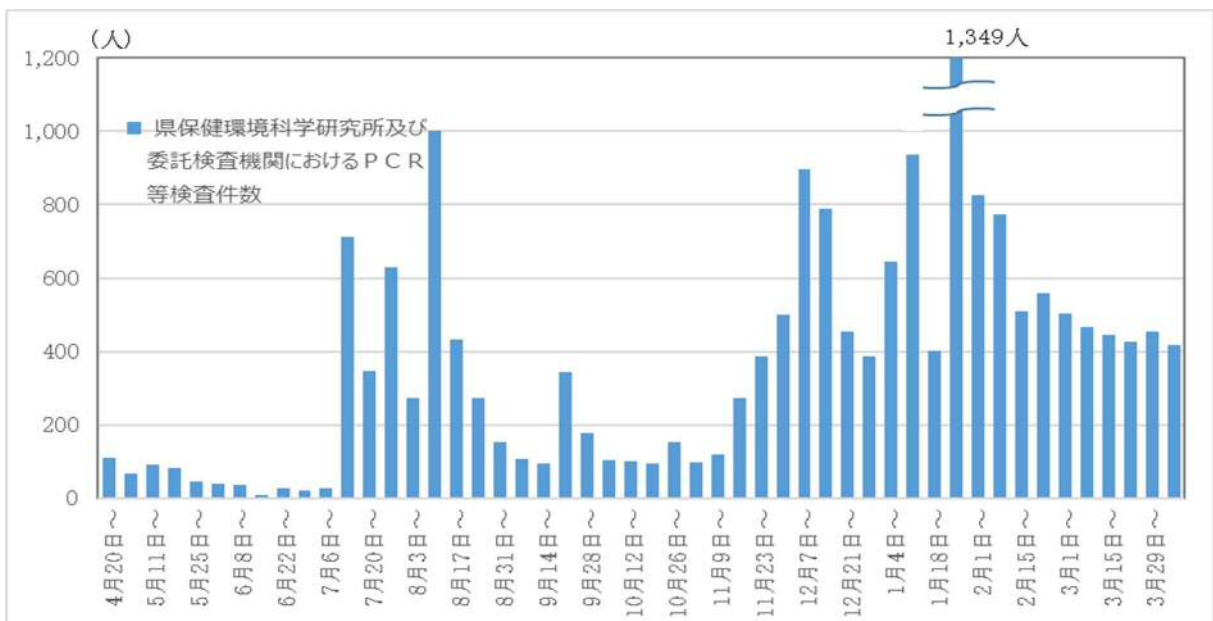
1. 新型コロナウイルス感染症の発生状況等

昨年4月9日に県内で初めて感染者が確認されてから4月14日までに、計295人の感染が確認され、288人の方が退院・療養解除されました。4月に入ってから7人の感染が確認されています。

(1) 陽性患者の発生状況（4月14日時点）

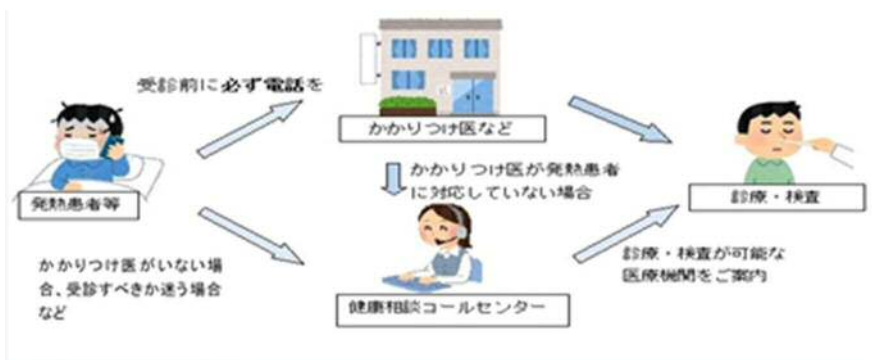


(2) PCR等検査の実施状況4月第1週末時点）



2. 相談窓口、診療・検査体制の状況等

新型コロナウイルス感染症も含めた相談・診療・検査が地域で適切に受けられるよう、令和2年11月1日から、発熱などの症状がある患者は保健所に相談することなく、かかりつけ医などの地域で身近な医療機関に直接電話し、診療等が受けられる体制としています。



(1) 相談体制

- ・発熱患者等は、かかりつけ医がいる場合、受診前に電話し、診療・検査へ
- ・かかりつけ医がない場合や受診に迷う場合などは、「しまね健康相談コールセンター」へ連絡し、検査・診療が可能な医療機関の案内を受け、診療・検査へ（感染リスクの高いと思われる方については、コールセンターは管轄の保健所につなぐ）

(2) 診療体制（診療・検査医療機関）

- ・かかりつけ医などを「診療・検査医療機関」として県が指定し、従来の帰国者・接触者外来22医療機関を含め、248医療機関を指定

(3) 検査体制

ア 県保健環境科学研究所

- ・PCR検査実施可能件数： 令和3年3月末時点 216検体
- ・抗原定量検査機器(ルミパルス)の追加整備 令和2年8月末

イ 地域外来・検査センター

- ・松江地域検査センター（松江医師会）（令和2年10月31日開設）
- ・出雲、県央、浜田、益田、隠岐にも地域外来検査センターを設置
※検査の集中による混乱回避のため、設置場所は非公表

3. 医療提供に係る対策

(1) 島根県広域入院調整本部の設置

- ・県内における新型コロナウイルス感染症患者の増加に備え、入院医療を全県単位で一元的に調整することにより、医療提供体制を強化

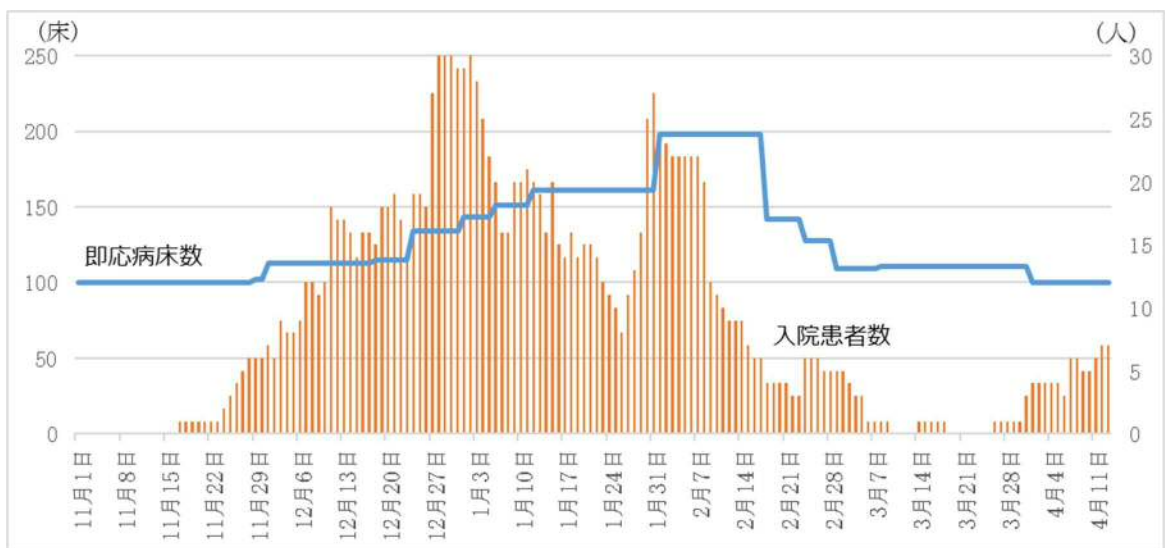
(2) 病床確保計画の策定

- ・感染症対策と一般医療が両立できる医療提供体制の構築を図るため、「新たな患者推計に基づく病床確保計画」を策定
- ・最大ピーク時の患者総数208人、そのうち入院患者数は147人（うち重症患者は21人）と推計
- ・確保病床253床を5段階に区分し、即応病床100床を常時確保した上で、患者の発生状況に応じ、順次、対応病床を増床

(3) 病床の確保・使用状況（4月14日時点）

県内確保 病床数 (A)	即応病床 (B)	入院患者数 (C)	病床使用率	
			確保病床 (C/A)	即応病床 (C/B)
253床	100床	7人	2.8%	7.0%

(令和2年11月以降の日別状況)



(4) 軽症者等の宿泊療養

- ・患者の増加に備え、軽症者や無症状者の療養のための宿泊施設として98室を確保
 - ・玉造国際ホテルRivage Choraku（松江市・45室）
 - ・島根県立青少年の家「サンレイク」（出雲市・33室）
 - ・島根県立少年自然の家（江津市・20室）
 - ・8月を目途に、宿泊療養専用のプレハブ施設を整備予定（松江市・80室）

がん診療連携拠点病院の指定について

1 がん診療連携拠点病院とは

- がん診療の中核的役割を担う病院として、国が定める「がん診療連携病院等の整備に関する指針」に基づき指定
- 指定により国と県による補助金の交付と診療報酬上の加算がある

2 浜田医療センターに係る経緯等

- H30年度にがん診療連携拠点病院の要件である院内がん登録中級認定者の不在により、R元年度は1年限定の「一般型」、R2年度は「特例型」として指定
※特例型：指針に基づく指定要件の充足状況が不十分な場合の指定類型
- その他の要件(診療、相談等)は、満たしていることからがん診療に係る影響はない状況
- その後、R2年度後半に院内がん登録中級認定者を確保したことにより要件を満たし、R3.4.1付けでがん診療連携拠点病院の一般型として指定

3 がん診療ネットワーク体制について

- 都道府県がん診療連携拠点病院である島根大学医学部附属病院に、各圏域の拠点病院等を加え、県全体での医療機関間の連携によるがん診療ネットワーク体制の充実に向け、引き続き取り組んでいく

【 指定状況：R3.4.1時点 】

	区分	病院名	指定期間
国指定	都道府県 がん診療連携拠点病院	島根大学医学部附属病院	4年(H31.4.1～R5.3.31)
	地域 がん診療連携拠点病院	【高度型】松江市立病院	4年(H31.4.1～R5.3.31)
		【一般型】松江赤十字病院	4年(H31.4.1～R5.3.31)
		【一般型】県立中央病院	4年(H31.4.1～R5.3.31)
	【一般型】浜田医療センター	2年(R3.4.1～R5.3.31)	
県指定	がん診療連携推進病院	益田赤十字病院	1年(R3.4.1～R4.3.31)
	がん情報提供促進病院	松江医療センター外4病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
		雲南市立病院外3病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
		出雲市立総合医療センター外2病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
		大田市立病院外2病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
		江津済生会病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
		益田地域医療センター医師会病院外2病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)
隠岐病院外1病院	2年(R2.4.1～R4.3.31)		

第8期介護保険事業計画期間における介護保険料について

1 第1号被保険者が支払う保険料（月額）

	第7期 H30～R2	第8期 R3～R5	上昇額(率)
島根県（加重平均）	6,324円	6,379円	55円(+0.9%)

※加重平均算出方法

各保険者の基準月額保険料に第1号被保険者数（推計）を乗じ、合算した値を、島根県全体の第1号被保険者数（推計）で除した金額。

【介護保険料が上昇した主な理由】

- ・高齢化の進展に伴う要介護認定者数の増を推計（R2 48,173人 →R5 48,619人）
- ・高齢者の在宅での医療ニーズへの対応のため、訪問看護・訪問リハビリテーションなどの給付費増を推計
- ・医療と介護の複合的ニーズに対応する介護医療院での給付費増等を推計

2 県内保険者ごとの保険料（月額）

[単位：円]

保険者名	第7期 H30～R2	第8期 R3～R5	第7期からの 上昇額(率)
松江市	6,343	6,554	211(3.3%)
出雲市	6,260	6,260	0(0.0%)
益田市	5,950	6,000	50(0.8%)
大田市	6,500	6,900	400(6.2%)
安来市	6,000	6,300	300(5.0%)
津和野町	5,396	5,394	▲2(0.0%)
吉賀町	6,100	6,600	500(8.2%)
邑智郡総合事務組合	6,760	6,650	▲110(▲1.6%)
浜田地区広域行政組合	6,980	6,600	▲380(▲5.4%)
雲南広域連合	5,900	5,900	0(0.0%)
隠岐広域連合	6,550	6,550	0(0.0%)